戦国時代

名前

問1　室町時代後期から戦国時代にかけて、各地の実力者が幕府の法に頼らず、自らの領国内を統治するために独自に制定した法律を何といいますか。（2024年 岡山県公立入試 類似）

1. 武家諸法度
2. 公事方御定書
3. 分国法
4. 御成敗式目

問2　室町時代の後半から戦国時代にかけて、各地で戦国大名が勢力を伸ばした背景として最も適切な説明はどれですか。（2024年 秋田県公立入試 類似）

1. 特定の家柄のみが政治を独占する「門閥政治」が行われ、それに反発した新興勢力が台頭したため
2. 朝廷の権威を重んじる「尊王攘夷」の考えが広まり、幕府を打倒する勢力が現れたため
3. 幕府が各地の有力な農民に領地を分け与え、新しい支配層として育成したため
4. 幕府の権威が衰え、身分の低い者が実力で上の者をしのぐ「下剋上」という風潮が強まったため

問3　1549年にフランシスコ・ザビエルが日本に上陸し、キリスト教を伝えた背景には、当時のヨーロッパにおける宗教情勢が深く関わっています。キリスト教が日本に伝えられるに至った直接的な背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. ルターが自身の教えを世界に広めるために組織を設立し、その活動の一環として日本が最初の布教先に選ばれた。
2. 十字軍の遠征が失敗に終わったことで、キリスト教徒がイスラム教勢力に対抗するための同盟国を東アジアに求めた。
3. 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。
4. ルネサンスの進展によって人間中心の考え方が広まった結果、宗教の枠組みを超えた世界規模の文化交流が推奨された。

問4　室町時代の中期、浄土真宗（一向宗）を信仰する地侍や農民たちが強く団結し、加賀国（現在の石川県）の守護大名である富樫氏を倒す出来事が起こりました。この蜂起によって実現した、その後約100年にわたる地域の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 高知県公立入試 類似）

1. 武家諸法度を無視したとして幕府から改易を命じられ、キリシタンを中心とした大規模な反乱が起きた。
2. 幕府に対して借金の帳消しを求める徳政一揆へと発展し、全国的な徳政令の発令を勝ち取った。
3. 有力な国人たちが集まって合議制を敷き、守護大名の立ち入りを8年間にわたって禁じた。
4. 門徒たちが独自の政治体制を築き、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるような自治を実現した。

問5　戦国大名が「分国法」を定めた目的や、その内容に共通する特徴として最も適切なものはどれですか。（2023年 静岡県公立入試 類似）

1. 江戸幕府の許可を得て、大名同士の婚姻を制限し、軍事力を抑え込むこと
2. 家臣同士の私的な争いを禁じ、大名の強力な権限で領国内の秩序を維持すること
3. キリスト教の布教を制限し、特定の寺社を保護して領国内の思想を統一すること
4. 鎌倉幕府が定めた武士の慣習を全国一律に適用し、朝廷の権威を守ること

問6　戦国時代の堺において、自治的な運営を支えた商人の経済力や、当時の文化的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 滋賀県公立入試 類似）

1. 朝廷からの特権を得た公家たちが、伝統的な和歌や蹴鞠の文化を町衆に広めた。
2. 勘合貿易の独占によって得た利益を背景に、幕府の役人が直接町を支配した。
3. 会合衆と呼ばれる商人たちが町を治め、鉄砲の製造技術を取り入れることで軍事的・経済的地位を高めた。
4. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの文化のみを追求した。

問7　1549年に現在の鹿児島県にあたる地域へ来航し、日本に初めてキリスト教を伝えた宣教師の名前と、彼が所属していたカトリック教会の組織の組み合わせとして正しいものはどれか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）

1. ペリー（アメリカ海軍）
2. マルコ・ポーロ（東インド会社）
3. フランシスコ・ザビエル（イエズス会）
4. 鑑真（唐招提寺）

問8　室町幕府の支配力が弱まる中で発生した、加賀国（現在の石川県）において浄土真宗の門徒らが守護大名を倒し、その後約100年にわたって農民らによる自治を行った出来事はどれですか。（2018年 静岡県公立入試 類似）

1. 加賀の一向一揆
2. 山城の国一揆
3. 島原・天草一揆
4. 正長の土一揆

問9　15世紀後半の応仁の乱以降、室町幕府の権威が低下するなかで、各地の戦国大名が自らの領国内を独自に統治・管理するために制定した法律を何というか、正しい名称を選びなさい。（2023年 福井県公立入試 類似）

1. 分国法
2. 御成敗式目
3. 公事方御定書
4. 武家諸法度

問10　室町時代後半に見られた、実力で上の身分の者を圧倒する社会的な風潮の中で、それまでの守護に代わって台頭した勢力があります。自らの力で領地を拡大し、独自の法律である「分国法」などを定めて領国を支配したこれらの勢力を何と呼びますか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 守護大名
2. 戦国大名
3. 御家人
4. 地頭

問11　日本地図において、中国地方の日本海側に面した島根県に所在し、かつて「灰吹法」という技術を導入して生産量を飛躍的に高めた銀山を次の中から選びなさい。（2016年 鳥取県公立入試 類似）

1. 富岡製糸場
2. 石見銀山
3. 足尾銅山
4. 生野銀山

問12　戦国大名が「分国法」を制定した主な背景や目的として、最も適切な説明を選びなさい。（2023年 福井県公立入試 類似）

1. 明治政府が近代的な国家を建設するために、西洋の法制度を取り入れて国民の権利を定めようとしたから
2. 鎌倉幕府が御家人たちの領地争いを裁判によって公正に解決し、武士の支持を集めようとしたから
3. 応仁の乱を経て室町幕府の支配力が弱まったため、大名が実力で自国の武士や民衆を統制する必要があったから
4. 江戸幕府が大名たちの婚姻や城の修理を制限し、全国の諸大名を統制しようと考えたから

問13　室町時代に足利義満が開始した、大陸との外交や貿易の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

1. 博多湾を襲撃した元軍を退けた後、元の優れた文化を導入するために、北条氏が中心となって大陸との官民一体の貿易を推進した。
2. 明の皇帝から「日本国王」として認められた義満は、倭寇と正式な貿易船を区別するために「勘合」という札を用いる日明貿易を行った。
3. イエズス会の宣教師であるフランシスコ・ザビエルの布教を保護する条件として、ポルトガル船との間で南蛮貿易を開始した。
4. 幕府が発行した「朱印状」を携えた船が、東南アジアの諸港へ出向いて、香料や絹織物などを取引する自由貿易を行った。

問14　16世紀の戦国時代、室町幕府の権威が衰退する中で、各地の実力者である戦国大名が自らの領国を独自に統治するために制定した法律を何というか、名称を答えなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 御成敗式目
2. 公事方御定書
3. 分国法
4. 墾田永年私財法

答え合わせ・解説

問1	答え 3 分国法	応仁の乱以降、室町幕府の権威が衰退したため、各地の戦国大名は自分の力で領国を維持・発展させる必要がありました。そこで、家臣同士の争いを裁いたり、領国内の治安を維持したりするために、独自に制定した法が「分国法」です。今川氏の「今川仮名目録」や武田氏の「甲州法度之次第」などが有名です。
問2	答え 4 幕府の権威が衰え、身分の低い者が実力で上の者をしのぐ「下剋上」という風潮が強まったため	14世紀から15世紀にかけての年表をたどると、幕府の統制力が弱まると同時に、各地で実力主義による勢力争いが激化していることがわかります。この「下剋上」の動きによって、従来の守護などの家柄に関係なく、軍事力や政治力のある者が戦国大名として自立していきました。
問3	答え 3 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。	ルターによる宗教改革の影響で、ヨーロッパ内でのカトリック教会の勢力が弱まりました。これに危機感を抱いたカトリック側は、失った勢力を補い、教勢を回復させるために、大航海時代でつながったアジアなどの海外諸国へ積極的に進出しました。イエズス会の活動はこの一環であり、日本へのキリスト教伝来もその大きな流れの中に位置づけられます。
問4	答え 4 門徒たちが独自の政治体制を築き、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるような自治を実現した。	1488年、加賀国では浄土真宗の門徒たちが結束して守護大名を自害に追い込みました。この出来事は、それまでの階級社会において農民や地元の武士が中心となって、約1世紀という長期間にわたり自分たちの手で地域を運営（自治）したという点で、日本の歴史上非常に特異な事例とされています。織田信長によって平定されるまで、この体制は維持されました。
問5	答え 2 家臣同士の私的な争いを禁じ、大名の強力な権限で領国内の秩序を維持すること	戦国大名は、家臣たちの私的な争いが領国の混乱を招くことを防ぐため、武力による解決を禁じました。多くの分国法では、争った両者を理由に関わらず処罰する「喧嘩両成敗」の原則などが盛り込まれ、大名が絶対的な裁判権を持つことで領国支配を強めようとしました。大名同士の婚姻制限は江戸時代の武家諸法度の内容です。
問6	答え 3 会合衆と呼ばれる商人たちが町を治め、鉄砲の製造技術を取り入れることで軍事的・経済的地位を高めた。	堺の商人は、自由な経済活動を守るために「会合衆」を結成して自治を行いました。彼らは伝来したばかりの鉄砲の製造に着目し、その技術を確立することで各地の戦国大名と取引を行い、強大な影響力を持ちました。また、こうした豊かな経済力を背景に千利休が「わび茶」を完成させるなど、独自の町衆文化を形成しました。
問7	答え 3 フランシスコ・ザビエル（イエズス会）	16世紀、宗教改革に対抗してカトリック教会の立て直しを目指したイエズス会は、海外への布教活動を積極的に行いました。その創設メンバーの一人であるフランシスコ・ザビエルは、インドのゴアを経て鹿児島に上陸し、日本での布教を開始しました。これが日本におけるキリスト教伝来の始まりです。
問8	答え 1 加賀の一向一揆	1488年、加賀の浄土真宗（一向宗）の門徒たちが団結して守護の富樫氏を自害に追い込みました。その後、加賀は「百姓の持ちたる国」と呼ばれ、約1世紀にわたる自治が実現しました。これは幕府や守護による中央集権的な支配が崩壊しつつあったことを示す象徴的な事例です。
問9	答え 1 分国法	室町幕府の統治能力が弱まった戦国時代、各地の戦国大名が領国を安定して支配するために独自に定めた法典です。幕府の法（幕府法）や荘園領主の法ではなく、大名自身の権力に基づいて定められた点に特徴があります。
問10	答え 2 戦国大名	下剋上の風潮によって、幕府から任命された守護の地位を奪ったり、地域の有力な武士が実力をつけたりすることで新しい支配者が現れました。彼らは自らの力で領国内の家臣や農民を統制し、他の地域と争いながら勢力を広めました。
問11	答え 2 石見銀山	石見銀山では、鉱石から銀を取り出す「灰吹法（はいふきほう）」という技術が導入されたことで、生産量が急増しました。兵庫県の生野銀山や、愛媛県に位置し銅を産出した別子銅山などと混同しやすいですが、島根県という立地と、大航海時代の世界経済に影響を与えた規模の大きさが石見銀山の大きな特徴です。
問12	答え 3 応仁の乱を経て室町幕府の支配力が弱まったため、大名が実力で自国の武士や民衆を統制する必要があったから	応仁の乱によって中央政府である室町幕府の権威が失墜すると、各地の大名は自らの力で領国を維持しなければなりませんでした。領国内の紛争を解決し、家臣を団結させて軍事力を高めるために、独自の法律が必要とされました。選択肢にある「武家諸法度」は江戸時代、「御成敗式目」は鎌倉時代、「明治の法制度」は近代のものです。
問13	答え 2 明の皇帝から「日本国王」として認められた義満は、倭寇と正式な貿易船を区別するために「勘合」という札を用いる日明貿易を行った。	室町幕府の3代将軍である足利義満は、明との国交を樹立し、日明貿易（勘合貿易）を始めました。この貿易では、当時沿岸部で活動していた海賊（倭寇）と正式な使節を区別するために、「勘合」と呼ばれる照合用の札が使われたのが大きな特徴です。
問14	答え 3 分国法	戦国時代、守護大名に代わって実力で領地を支配した戦国大名は、家臣の統制や領国内の治安維持、年貢の徴収などを目的として独自の法を定めました。これは大名の支配権が及ぶ「分国（領国）」にのみ適用されたため、このように呼ばれます。選択肢にある御成敗式目は鎌倉時代、墾田永年私財法は奈良時代、公事方御定書は江戸時代のものです。